

## 2018年度事業報告

### (1) 資料収集保管事業

#### ①資料収集

- ・資料調査のなかで、館外の関係者と資料の受贈・寄託を受けられるようにした。
- ・差別・人権に関する既存資料を核とした収集を継続した。

#### ②資料保管

- ・収蔵資料目録により、資料の所在を確認し、整備に努めた。

### (2) 調査研究事業

- ①当館の基本理念を活かすために、日本社会の歴史と文化に根ざした人権問題を総合的に対象とした調査研究を推進した。

- ②調査・研究の成果は総合展示・特別展・企画展・教育普及活動などを通じて広く還元した。

### (3) 展示公開事業

#### ①総合展示の改善

- ・分かり易くするために、資料と解説を補充した。

#### ②特別展

第73回特別展示「絵図と被差別民 ―都市大阪のコスモロジー―」

趣旨 江戸時代に作成された絵図（古地図）を通して、大阪の町の景観と被差別民の歴史について考えた。

期間 2018年5月17日（木）～8月30日（木）

主催 大阪人権博物館

会場 大阪人権博物館特別展示室

関連行事

学芸員による展示解説

2018年6月23日（土）、8月4日（土）何れも14時～

#### ③企画展

1 「いまこそ知りたい！楽しく学ぼう 日本国憲法展 シーズン3」

「“家族”のカタチ “性”のアリカタ」

趣旨 公布後72年を迎えた日本国憲法の役割にについてわかりやすく学んだ。

下記の期間で展示内容を変更して実施した。

期間 2018年7月11日(水)～9月27日(木)

関連行事

1 憲法カフェ with 前川喜平

日時 2018年4月22日(日) 13時30分～

場所 リバティホール

2 憲法原発カフェ 原発賠償 KANSAI サポートーズ × あすわか大阪

日時 2018年4月22日(日) 13時30分～

場所 大阪人権博物館研修室

3 映画 みんなの学校上映会&木村先生とみんなでトーク

日時 2018年8月11日(土) 13時30分～

場所 リバティホール

③丸木位里・丸木俊夫妻の共同制作 原爆の図『高張提灯』特別公開

趣旨 当館の所蔵する丸木位里・丸木俊夫妻の共同制作である原爆の図『高張提灯』を特別公開した。

日時 2018年11月14日(水)～2019年3月16日(土)

#### (4) 教育普及事業

特別展、企画展、総合展示の関連行事として行った。

①アイヌ民族舞踊 アシリパ 大阪公演と交流

趣旨 アイヌ古式舞踊の公演を通じて、その文化の継承に込められた文化、思いを体験し、公演参加者と演者との交流を推進した。

日時 2018年10月20日(土) 13時30分～

場所 リバティホール

※公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構国内文化交流助成事業により実施

## ②リバティおおさか展示ギャラリートーク

趣旨 総合展示に関係する当事者から展示資料の解説と現状や課題について学んだ

日時 2018年10月 6日(土) 薬害被害  
10月20日(土) アイヌ民族  
11月24日(土) 丸木コレクション  
12月 1日(土) 水俣病関西訴訟  
12月 8日(土) ウチナンチュー  
12月15日(土) ハンセン病回復者  
2019年 1月19日(土) 西淀川公害訴訟  
2月 2日(土) 部落問題  
2月16日(土) 在日コリアン

※リバティおおさか裁判を支援する会と共催して行った。

## (5) ホール事業

### ①第7回リバティまつり

趣旨 リバティホールの利用促進と市民グループによる舞台発表を通じて、地域交流を促進するために実施した。

主催 リバティまつり実行委員会

協力 太鼓正、浪速連合町会、浪速区役所、浪速区社会福祉協議会

日時 2018年10月13日(土)13時～

会場 リバティホール

内容 太鼓皮張り実演、市民グループによる舞台発表、高石ともやさんによるライブ

### ②リバティアートフェスタ2019

趣旨 学校教育現場で日常におこなっている有形・無形の文化・芸術活動を発表し活動の意義を広めた。

主催 大阪人権博物館、大阪市人権教育研究協議会、大阪市外国人教育研究協議会

日時 2019年2月2日(土)10時～

会場 リバティホール

内容 大阪市内各学校諸団体による文化活動の発表

## (6) 観覧サービス事業

### (1) 館内提供サービス

#### ①研修サービス

趣旨 展示内容に即した講義などをおこない、研修の意義をいっそう深めた。

内容 部落問題に関する事前相談・情報提供→ガイダンス→解説（講演）→  
会場提供

人数 随時（開催日は水曜から金曜）

#### ②太鼓と皮革のまちを歩くフィールドワーク（社会人向け）

人数 20人程度を上限とする

開催日は、金曜、土曜とし、水曜、木曜は「浪速部落の歴史」編纂委員会と  
連携して行った。（6月から9月は実施せず。）

#### ③学校向けの見学時のサービスはホームページ上のワークシーートの活用、ガ イドボランティアによる観覧支援を行った。

### (2) 総合展示関連

#### ①博物館ボランティア

趣旨 一般来館者に対して、総合展示の解説ガイド、体験コーナー(12カ所)  
でプログラムの進行、ボランティア活動のさらなる充実化を行った。

内容 1. スターティングガイドならびに展示室内での質問対応  
2. 各体験コーナーのプログラムの実施  
3. 当館の事業運営に関わる館内外の美化、清掃活動

#### ②事業補助スタッフ

趣旨 研修サービス、フィールドワークなど有償のサービスを希望する来館  
者に対して、総合展示のテーマに応じた解説やガイドフィールドワー  
クのガイダンスをおこない、館の運営を補助した。

内容 1. 総合展示に即した講義を行う  
2. 太鼓と皮革のまちを歩くフィールドワークのガイダンスと案内

## (7) 広報活動

### ①サポーターへの広報活動

- ・発行 各事業開催毎
- ・部数 800部
- ・内容 館主催、共催事業のチラシ等の配付

### ②ホームページ、Facebook

- ・年間のスケジュール、各事業について、広報紙の発行に合わせて計画的に、迅速に掲載した。
- ・ホームページ、Facebookの機能に応じた広報活動を行った。

### ③発送（チラシ・ポスター）

- ・事業毎に共催団体と連携して周知した。
- ・特別展、教育普及事業、ホール事業は事業の性格により作成して、関係団体と協力してチラシ、ポスターの設置、掲出などを行った。

### ④マスコミの活用

- ・報道資料を関係機関、団体に送付し、宣伝、掲載依頼を行った。
- ・新聞記者個人に報道資料提供を行い、宣伝、掲載依頼を行った。

## (8) 利用促進活動

### ①諸機関・団体へ博物館事業の維持推進のため見学依頼、施設利用、スポンサー、サポーター確保、当館作成のDVD購入依頼などの利用促進活動を行った。

- ・部落解放第52回全国研究集会（2018年11月27～29日、岡山市）
- ・第68次日本教職員組合教育研究集会（2019年2月1～3日、福岡市）

### ②リバティおおさかの存続を求める合同支援集会（2018年7月14日）

- ・サポーター、スポンサー、リバティおおさか裁判を支援する会員を対象として、博物館をめぐる財政状況、事業収入確保の依頼、リバティおおさか裁判進行協議の進捗について説明した。また、開催中の第73回特別展示「絵図と被差別民 —都市大阪の コスモロジー—」について神戸市立博物館学芸員による展示解説を行った。

### ③リバティおおさか報告集会（2019年1月19日）

- ・サポーター、スポンサー、リバティおおさか裁判を支援する会員を対象とし

て、2019年度開館に向けた説明と事業収入確保と利用促進の協力を依頼した。

### (9) 自主財源確保

- ①収入の基本であるスポンサー、サポーターの確保・拡大、一般寄附の確保に向け役・職員一丸となって収入確保に向けた活動を行った。
- ②関係団体の諸集会などで継続的に利用促進とスポンサー、サポーターの確保・拡大の依頼活動を行った。
- ③部落史DVDシリーズとして、以前に製作したVHSを新たに「歴史編」「芸能と文化編」「身分と生業編」に復刻し、事業収入確保に努めた。
- ④ミュージアムショップの販売品目を精査し、当館の書籍等の積極的な販売を行った。
- ⑤企画展の実施団体と協力して新たに書籍、グッズの販売に努めた。